



シラバス参照

タイトル「2014年度 教養科目シラバス」、フォルダ「2014年度 教養科目シラバス-2014年度「わかやま」学」シラバスの詳細は以下となります。



科目名	観光と地域の活性		
担当教員	谷脇 幹雄		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	木 4	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年		
科目名 (英語表記)	Tourism and Culture and Activation		
授業のねらい・概要・科目の位置付け	国の光を観る「観光」を地域の活性化に如何に結びつけるか事例を中心に解説・分析し、学生に「地域づくり」への関心と積極的な参画を誘う。		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ガイダンス 観光と地域振興</li> <li>2. 観光の歴史</li> <li>3. 観光行政・施策</li> <li>4. 観光と環境</li> <li>5. 観光PR・アンテナショップ</li> <li>6. ナショナルトラスト</li> <li>7. 海を活かした観光振興</li> <li>8. 農を活かした観光振興</li> <li>9. 森と温泉を活かした観光振興</li> <li>10. 歴史と文化を活かした観光 (世界遺産)</li> <li>11. 移住・交流による地域活性化</li> <li>12. 観光と教育 (子ども農山漁村交流プロジェクト)</li> <li>13. 過疎地における地域振興</li> <li>14. 都市観光</li> <li>15. 今後の地域振興に向けて</li> </ol> <p>◎ ただし講義内容の進み具合で予定は変更することもありうる。</p>		
到達目標	観光地づくり・地域づくりについて自分なりの意見を持ち、実践活動への参画を期待する。		
成績評価方法	出席状況、講義中の小テスト、毎回提出させる講義内容についてのレポート等を基に評価する。		
教科書	特に定めない。		
参考書	「観光白書」等適宜紹介します。		
履修上の注意・メッセージ	講義は、企画・観光・環境を担当した行政マンとしての経験を中心にわかりやすく行います。プロの体験談ヒアリングやフィールドワークを適宜実施するとともに、フィールド情報を提供するので自主学習に努めて下さい。毎回必ず授業内容に関するレポートを提出させます。地方公務員をめざす方は是非受講下さい。授業中の私語、携帯電話の使用は厳禁。		
授業時間外学習	授業に関連する資料を毎回配布します。準備学習と復習にそれぞれ最低30分、さらに授業に関連する課題に関する調査、考察に約1時間、合計して授業1回につき2時間程度、自主的に学習することが必要です。		



